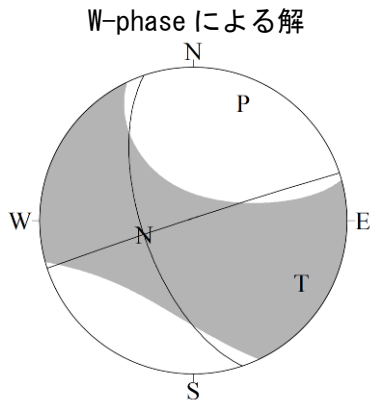


## 6月24日 バンダ海の地震 (W-phase を用いた発震機構解析)

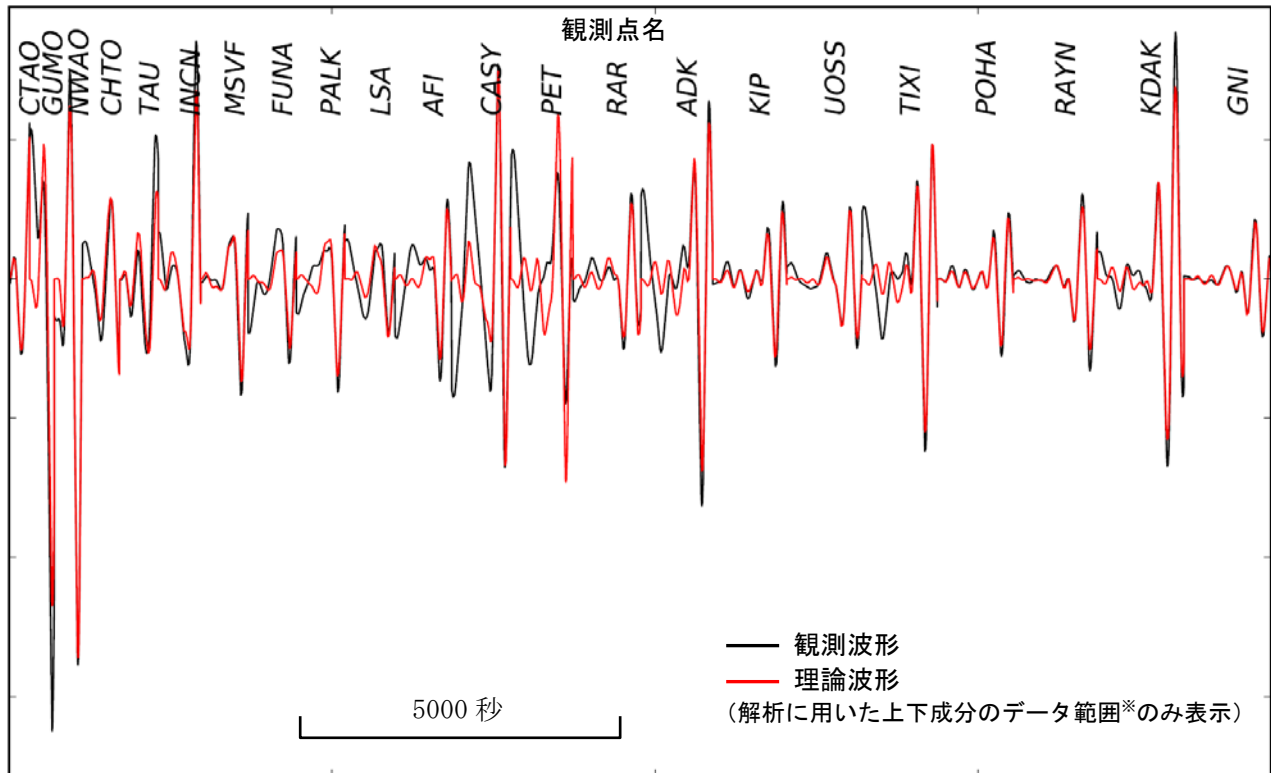


2019年6月24日11時53分(日本時間)にバンダ海で発生した地震についてW-phaseを用いた発震機構解析を行った。発震機構、 $M_w$ とも、他機関の解析結果とほぼ同様であり、 $M_w$ は7.2であった。なお、W-phaseの解析で求めた震源は $S6.6^\circ$ 、 $E129.1^\circ$ 、深さ191kmとなった。

W-phaseの解析では、震央距離 $10^\circ \sim 90^\circ$ までの22観測点の上下成分、24観測点の水平成分を用い、200~600秒のフィルターを使用した。

注) W-phaseとはP波からS波付近までの長周期の実体波を指す。

$M_w$	$M_0$	断層面解1 (走向/傾斜/すべり角)	断層面解2 (走向/傾斜/すべり角)
7.2	$8.96 \times 10^{19} \text{Nm}$	$251.9^\circ / 88.7^\circ / 27.3^\circ$	$161.2^\circ / 62.7^\circ / 178.5^\circ$



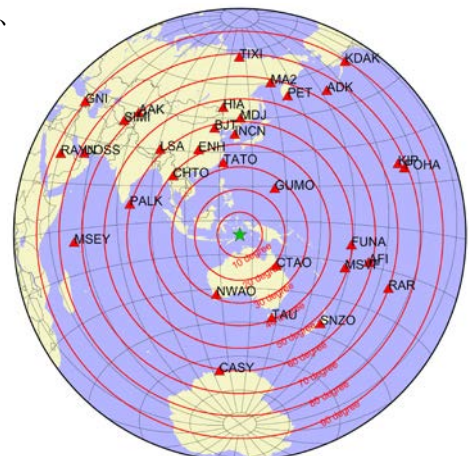
※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phaseに関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera, 2008, Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

解析データには、米国大学間地震学研究連合(IRIS)のデータ管理センター(DMC)より取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析には金森博士及びRivera博士に頂いたプログラムを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置